

揚家からのリノベーション [広島市]

[建築主]	非公表		
[設計者]	道本 聡	[有限会社 道建設]	TEL : 082-232-6483
[施工者]	坂井 翔太	同上	同上
[企画立案者]	道本 聡	同上	同上



揚家の様子。築約 70 年の住宅で、無筋の基礎で劣化も激しかったため打ち換えることとした。建物全体をジャッキで少しずつ持ち上げている。



←リビングは、傾斜天井で伸びやかな空間になっている。古材の柱や梁もいい味を出している。造作のテレビ台は既存柱の間隔に合わせた。設計時に心配されていたが、違和感なく仕上がっている。↓



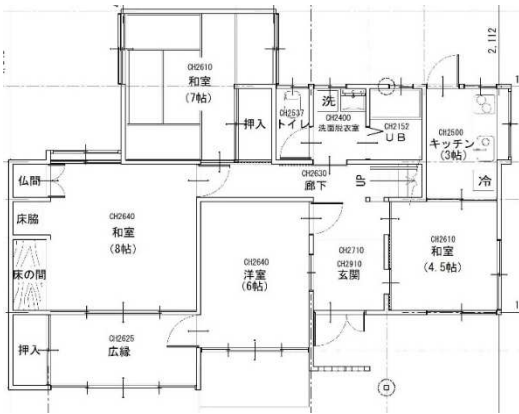
◆創意工夫点（道本 聡さん）

空き家になっていた築約 70 年の木造二階建ての全面改装の相談である。

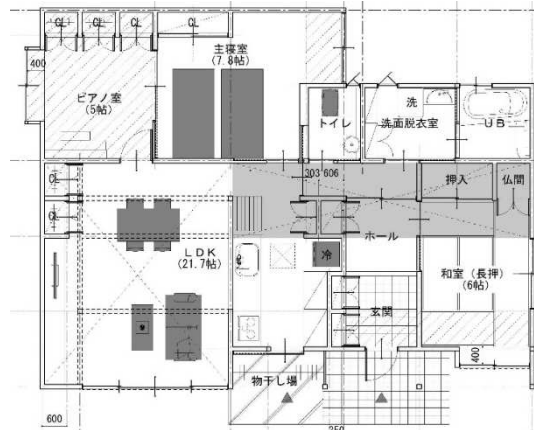
計画が大規模で途中建替えも視野に入れながら検討を進めたが、既存の住まいを大切にしたいという思いから全面改装で進めることにした。地盤が低く且つ基礎の状態が良くないため揚げ家をし、基礎の新規打設をすることとした。ご夫婦二人住まいの計画のため 2 階部分は減築し、平屋建てとした。内装は無垢の床材や塗り壁材を採用、外部はモルタル下地に吹付仕上げ等、自然素材や手造りなど暖かみの感じられる家造りである。



←作業台や配膳台が充実したキッチンスペースである。リビングに対面するとともに、南に面し明るい場所になった。平屋の大屋根で屋根裏に大きな空間が生まれたので小屋裏収納を計画した。↓



工事前図面(1階)



工事後図面(1階)



和室らしい真壁で仕上げることは拘った。半間ほど増築している。

↑夫婦2人住まいであるため、減築して平屋とした。既存の和室、洋室、広縁を1つのLDKとし、現在の生活様式に合った間取りに変わった。

和室
←工事後
工事前→



平屋として生まれ変わりすっかりとした印象の外観になった。

←シンプルな切妻屋根に見せるため、既存の胴回りの梁と持ち出しの梁を収めることに工夫を凝らしている。

作品概要	
構造	木造平屋
工事の竣工	令和5年7月
コスト	約40万円/㎡
補助事業の活用	こどもエコすまい支援事業

◆建築主と設計・施工者の主なやり取り

[建築主さん]：ボロボロの基礎を打ち替えたいのですが、建物自体はそのまま残したいと思っています。技術的に不可能でしょうか。

坂井さん　：揚家という方法を用いて建物を土台から持ち上げた状態にすれば、基礎を打ち替えることは可能です。

[建築主さん]：断熱性能を高くしたいです。

坂井さん　：LDKは大屋根を生かして傾斜天井の広々とした空間にしますので、断熱材は現場発泡ウレタンフォームを採用しましょう。LDKの引き込み式入り口を閉めることで主寝室から水回りまで1つの空間になり、温熱環境のバリアフリーにもなります。

[建築主さん]：屋根裏収納が欲しい。

坂井さん　：大屋根によって生まれた屋根裏空間に、大きな収納部屋を作りましょう。

[建築主さん]：自然素材も取り入れたいのですが。

坂井さん　：内装に無垢の床材や塗り壁など、自然素材や手作りを採用し温かみを感じられる仕様にしましょう。

[建築主さん]：キッチンを対面にするのと、調理しながらでもテレビが見えるようにしたいです。

坂井さん　：キッチンとLDの空間を隣接させ、TV台と対面になるように間取りを計画します。